

2019（令和1）年6月28日

大学関係者 各位

大会運営委員会

第42回 大学職員「人間ネットワーク」のご案内

以下のとおり実施いたします。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

【テーマ】『大学の活動をリ・デザインする』

話題提供者：中京学院大学 築瀬 洋一郎 先生

【日時・会場】 2019（令和1）年7月20日（土）13：00～（ながれの詳細は次頁をご覧ください）

会 場 中京学院大学 中津川キャンパス
岐阜県中津川市千旦林1-104

<http://www.chukyogakuin-u.ac.jp/outline/access/>

【参加費】 研修会（会員：無料・一般1,500円）
情報交換会1（会員/一般：5,000円）
※参加費は当日受付でお支払いください。

【宿 泊】 プラザホテル栄（中津川駅から徒歩2分）0573-66-5858 ※30室仮予約済み
宿泊予約は、各自にて直接ホテルへ連絡をおとりくださいますようお願いいたします。

【申込方法】 下記いずれかにてお申し込みください。
② 「大学職員人間ネットワーク」で検索 ⇒ Topics の開催のお知らせより
② 右の URL のフォームより <https://forms.gle/W7uBpmsDQYcz5Ban7>
（申込期限：7月5日（金）17:00まで）

※大会期間中写真撮影をさせていただき、Webに掲載させていただきます。予めご承知いただきますと共に、掲載不可の場合は、必ずお申し出ください。

〈開催趣旨〉

風薫る五月一日、前日の四月三十日に平成天皇がご退位されましたことを受け、浩宮皇太子殿下が新天皇陛下（徳仁）として即位されました。

平成の世から元号は令和となり、新しい時代の始まりに、多くの国民が心をときめかせたのではないのでしょうか。

令和の意味につきましては、報道等によりご承知のこととは存じますが、日本最古の歌集「万葉集」巻五、梅花の歌三二首の序文にある「初春の令月にして、気淑（よ）く風和らぎ、梅は鏡前の粉を披（ひら）き、蘭は珮後（はいご）の香を薫らす」^{注1}を由来とし、「春の訪れを告げ、見事に咲き誇る梅の花のように、一人ひとりが明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる、そうした日本でありたいとの願いを込め、決定した。」^{注2}と発表されました。

私達も願う、一人ひとりが明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる日本の未来のために、私たち大学職員も学んだことを活かし、地域や職場、家庭内を含めた自身が生きるすべてのステージにおいて、活躍できる人と成りえているか、そして、次の時代を担う学生諸君や後輩職員を如何に育てていくかを顧みるよい機会だと思えます。

その振り返りのきっかけとして、今回は『大学の活動をリ・デザインする』をテーマに活発な意見交換が行えればと思えます。

公私ともに、ご多忙のこととは存じますが、万障お繰り合わせのうえ、多くの皆様をお誘いいただき、ご参会くださいますようご案内申し上げます。

（注1）日経新聞（2019年4月1日号）より引用

（注2）日経新聞（2019年4月2日号）より引用

大学職員「人間ネットワーク」

事務局：大阪府東大阪市菱屋西4-2-26

大阪樟蔭女子大学内

〈7月20日（土）〉 研修会

中京学院大学（中津川キャンパス）内での受付場所・研修教室等は、当日掲示にてご案内いたします。

12：30－ 参加者受付開始（懇親会参加者は参加費をお支払いください）

※一般参加者は13：30分から受け付け

◆総会（会員対象）13：00～13：45

◆第1部 研修

14：00～14：05 ご挨拶・諸連絡

14：05～14：45 話題提供 発表者 中京学院大学 築瀬洋一郎 先生（40分）

14：45～14：55 休憩

14：55～16：25 グループ討議 ※適時休憩

16：25～16：30 閉会

17：08～17：25 バス移動（中津川キャンパス～JR中津川駅）

◆第2部 情報交換会

17:45~20:00 情報交換会 「三喜屋」

(<https://tabelog.com/gifu/A2103/A210303/21005791/>)

《アクセス (7/20日)》

中京学院大学 (中津川キャンパス) 12:30~

〒509-9195 岐阜県中津川市千旦林 1-104 電話 0573-66-3121/FAX 0573-66-7722

JR名古屋駅より中央本線で JR 中津川駅へ、快速で約 70 分

JR 中津川駅より北恵那バスにて JR 中津川駅より約 17 分

中京学院方面行き				
中津川駅前	三菱工場前	手賀野	上手賀野	中京学院
8時50分	8時56分	8時58分	9時00分	9時07分
10時17分	10時23分	10時25分	10時27分	10時34分
11時05分	11時11分	11時13分	11時15分	11時22分
12時15分	12時21分	12時23分	12時25分	12時32分
13時00分	13時06分	13時08分	13時10分	13時17分
14時05分	14時11分	14時13分	14時15分	14時22分
16時45分	16時51分	16時53分	16時55分	17時02分



バス乗り場 >4レーン 中京学院大学方面



●お願い 次の点についてご理解とご協力をお願いいたします。

- ①参加者間の交流促進のため、資料として参加者名簿を配付いたします（項目は、所属大学名・部署名・氏名・メールアドレスです）。予めご了承ください。
- ②会員の方は身分証になりますので必ず会員証をご持参ください。

《オプションツアー（7/21日）》当日の費用は各自負担です。※バス代・昼食代等



- ～ 9 : 00 中津川駅集合
- 9 : 10～ 9 : 35 バス移動（中津川駅→馬籠）
- 9 : 35～11 : 10 『中山道馬籠宿』散策
- 11 : 20～11 : 45 バス移動（馬籠→中津川駅）
- 11 : 50～12 : 50 昼食
- 12 : 50～ 中津川駅解散





【大学職員「人間ネットワーク」の概要】

【設立趣旨】

我が国の私立大学においては、約半数が定員割れの状況に陥り、大学職員が激動の時代に対してどのように対処すべきかを、所属大学だけで解決していくには大変難しくなってきた。言いかえれば従来の“本学”意識から脱却して、各私立大学職員の相互理解を深めていくことが不可欠であると考え、私立大学職員同士が今まで以上に自由に、そして活発な意見交換ができる環境が必要であると 1998 年（平成 10 年）に有志私立大学職員により設立されたのが本会の始まりである。

私ども大学職員「人間ネットワーク」は、従来の情報提供型の研修会ではなく、参加者の国公私大、教職員の枠組みを超えた相互理解を深めることに重きをおき、参加者同士が深く突っ込んだ意見交換をするにより自己啓発を促し、各人が自在にコントロールできる資源の一つとして「人的ネットワーク」を提供することが目的である。

今現在それぞれの大学において直面する問題は多様化してきており、自組織のみで思考し解決していくという状況ではなくなってきた。日本の大学が、国公私大の枠組みだけでなく、大学間の垣根を越え真剣に議論し、共生する時代の到来であると考えた時、大学職員は大学職員の立場で“大学職員”による“大学職員のため”の人的情報ネットワークが必要であり、そのために大学職員「人間ネットワーク」の存在が重要な位置づけとなってくるであろう。

故に多くの大学職員の方々にお集まりいただき、共に英知を出し合いながら問題解決への手がかりとなればと考える。大学職員「人間ネットワーク」は、大学が健全に共生できるための大学職員による活発な意見交換の場と成りうることを目指し、より多くの志を同じくする大学職員の方々にお集まりいただきたい。

（2019 年 6 月）

【これまでの活動履歴】

	開催地	開催日	幹事校	主な討議テーマ
第1回	愛知県	平成10年12月		21世紀に向けての私立大学職員ネットワークのあり方について
第2回	東京都	平成11年6月	日本大学理工学部	履修登録システムの事例報告
第3回	京都府	平成11年12月	龍谷大学・ 京都外国語大学	FD活動についての現状報告
第4回	福岡県	平成12年7月	西南学院大学	病める学生達の心身ケアについて
第5回	神奈川県	平成12年12月	神奈川大学	「著作権」についての理解
第6回	兵庫県	平成13年6月	甲子園大学	「大学事務の情報化」
第7回	静岡県	平成13年12月	東海大学海洋学部	「学生支援」をテーマに多角的に検証
第8回	愛知県	平成14年6月	金城学院大学	今後の学籍のあり方とは
第9回	東京都	平成14年12月	明星大学	入学前提教育の諸検討
第10回	京都府	平成15年6月	佛教大学	これからの大学職員像とは

第11回	東京都	平成15年12月	大東文化大学	学生のキャリア形成について
第12回	岡山県	平成16年6月	ノートルダム清心女子大学	学生のキャリア形成について(続)
第13回	東京都	平成16年12月	桜美林大学	大学職員としての問題解決について
第14回	熊本県	平成17年6月	熊本学園大学	個人情報保護法への対応について
第15回	大阪府	平成17年12月	大阪工業大学	高大連携の現状と課題
第16回	新潟県	平成18年6月	新潟国際情報大学	地域の中の大学
第17回	福岡県	平成18年12月	九州産業大学	これからの大学職員像を考える
第18回	東京都	平成19年6月	大正大学	高等教育のデザインと大学人の役割
第19回	広島県	平成19年12月	広島国際大学	これからの学生支援のあり方と大学職員の役割
第20回	静岡県	平成20年8月	10周年記念大会	大学自主防災論
第21回	京都府	平成20年12月	京都文教大学	私立大学「働き場」のメンタルヘルス
第22回	福岡県	平成21年7月	西南学院大学	『「カネ」と「教育」について考える』
第23回	東京都	平成21年11月	東京農業大学	『「カネ」と「教育」について考える PART2』
第24回	岡山県	平成22年5月	就実大学	『大学職員力を考える』
第25回	愛知県	平成22年10月	東海学園大学	『大学職員力を考える PART2』
第26回	兵庫県	平成23年6月	大手前大学	『大学自主防災論』
第27回	東京都	平成23年12月	玉川大学	『大学職員の育成について考える -国立大学の事例からの考察-』
第28回	福岡県	平成24年6月	九州国際大学	大学の使命 第1弾 『学生の質保証のためのカリキュラム』
第29回	愛知県	平成24年12月	中部大学	大学の使命 第2弾 『大学職員道』-大学を変える、職員が返る-
第30回	大阪府	平成25年6月	追手門学院大学	大学の使命 第3弾 『学士課程答申以降の大学改革に果たす職員の役割』
第31回	東京都	平成25年12月	国士館大学	大学の使命 第4弾 『おちこぼれ大学職員』・『ワールドカフェ』
第32回	福岡県	平成26年6月	九州大学 (大橋キャンパス)	大学の使命 第5弾 『職員があらためて知ること・問うこと』
第33回	愛知県	平成26年12月	椙山女学園大学	大学の使命 第6弾 『わたしたち職員が“育つ”学びとは』
第34回	京都府	平成27年6月	京都学園大学	大学の使命 第7弾 『障がい学生支援と障害者差別解消法を考える』
第35回	広島県	平成27年11月	広島工業大学	大学の使命第8弾 学生の主体的学びへの支援 学びを促進する学習支援とアカデミックアドバイザー
第36回	東京都	平成28年7月	東京家政大学	大学を創る、未来を創る「大学史の原点と未来。不可視の未来を見据え、今何をすべきか」
第37回	福岡県	平成28年11月	筑紫女学園大学	本物の職員力「SDの義務化、その背景とこれからの職員論」
第38回	愛知県	平成29年6月	名城大学	『大学職員のキャリア形成』
第39回	兵庫県	平成29年11月	大手前大学	「大学のまち・西宮」
第40回	岡山県	平成30年7月	岡山理科大学	『大学版インクルーシブ学修支援環境を創造する』※延期
	広島県	平成31年1月	広島工業大学	『防災(減災)を考える』～『西日本豪雨・土砂災害の事例から』
第41回	東京都	平成30年11月	青山学院大学	『予測困難な時代を乗り切るための大学職員力』